

## 海外市場開拓セミナー 実践講座 &lt;8&gt;

## ■テーマ■通訳を探す/選ぶ/使いこなすテクニック

- 1) 通訳を有効に使うために知っておくべき「基本理解」
- 2) 通訳を使う側が注意したい話し方の注意ポイント
- 3) 優秀な通訳者を見つけ出すためのチェックポイント



## ■講座/セミナーの狙い

- ・ビジネス折衝や現地ヒアリング、商談会や展示会など数多くの現場を見てきた経験から通訳の使いこなしについてアドバイス
- ・通訳の探し方、通訳を選ぶ際の基準、優秀な通訳の条件など、最低限知っておきたいチェックポイントを徹底的にアドバイス
- ・話し手側(日本側)の注意で避けることができるミスコミュニケーションを紹介、通訳者が訳しやすい言葉の使い方をアドバイス

## ■主な対象者(ぜひご参加いただきたい方々)

- ・出張先で中国語の通訳を探したい/雇いたいと考えている日本企業の担当者(現地ヒアリング、ビジネス折衝、商談、展示会など)
- ・日本国内で中国からの研修生の受け入れ、部下の指導、中国からの訪問客対応など、通訳を必要とする日本企業の担当者
- ・自身が通訳を担当しているビジネスパーソン、通訳者を目指している方、中国語を学んでいるビジネスパーソンなど

## ■この講座/セミナーで伝えたいポイント

- ・ビジネス折衝や商談の成否は多くの部分を通訳者のパフォーマンスに依存する。通訳を最強の「戦力」と考えて使いこなし術を考える
- ・展示会では展示会特有の通訳の役割/使いこなし術がある。役割/機能に応じて通訳をどう使いこなすべきかポイントを学ぶ
- ・日本人が陥りやすいNGケースを紹介。限られた出張経費の中で通訳経費をどう捻出するか、効果的な経費の使い方を考える
- ・話の組み立て方、言葉の使い方、わかりやすい日本語表現や言い回しなど、話し手(日本側)が注意すべきポイントを学ぶ
- ・通訳費用を無駄なく有効に使うために、「通訳の使い方」について改めて考えてみる機会を作り、使いこなし術を身に付ける

## &lt;内 容&gt;

■8■通訳を探す/選ぶ/使いこなすテクニック	各セッションで取り上げるポイント/理解項目
1) 通訳を有効に使うために知っておくべき「基本理解」 1-1 通訳の探し方、通訳の選び方(人選のチェックポイント) 1-2 通訳の資質がわかる3つのチェックポイント 1-3 こんな通訳は避けたい NG 通訳×3つの事例 1-4 通訳は最高の「味方」、最強の「戦力」と心得るべし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通訳は言葉を置き換えるだけではない。最強の「戦力」として徹底的に活用</li> <li>・通訳経費をどのくらい見積もればいいのか、適正な通訳経費(予算)の目安</li> <li>・プロの通訳の必須アイテム、安心して任せられる通訳かどうか持ち物チェック</li> <li>・日本語能力のチェック方法、プロの通訳かどうか資質がわかるチェック項目</li> <li>・出張経費と通訳経費のバランス、経費を有効に使うための人選アドバイス</li> </ul>
2) 通訳を使う側が注意したい話し方の注意ポイント 2-1 フレーズは 30 秒、要点は簡潔に、説明は3つのポイント 2-2 通訳がメモをとる手の動きに注意 2-4 わかりやすい日本語表現、通訳泣かせの日本語表現 2-3 伝えたいことを中国側に確実に伝える現場の実践テク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通訳がメモと記憶で対応可能なフレーズの長さ、話の区切り方のテクニック</li> <li>・通訳が理解しやすい話し方、通訳が訳しやすい話し方を心がける</li> <li>・「1+3主張法」、「メリ・デメ法」、「三択主張法」、「可能性の数値化」</li> <li>・「和製英語」に注意、日本人が話す「カタカナ英語」(外来語)は通じない(?)</li> <li>・通訳が訳した内容の再チェックの仕方、中国側の理解度を確認する方法</li> </ul>
3) 優秀な通訳者を見つけ出すためのチェックポイント 3-1 目的別/機能別による通訳の人選と使いこなしテクニック 3-2 成否8割が事前準備で決まる、事前準備チェックリスト 3-3 同一地域の出張に指名通訳を/ブリッジコーディネーター 3-4 通訳の資質チェック、優秀な通訳者の条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会通訳の使い方、ヒアリング通訳の使い方、ビジネス折衝/商談通訳の使い方</li> <li>・事前の打ち合わせはどこまですべきか、事前準備/最低限のチェックポイント</li> <li>・専門用語や業界用語を事前に通訳にどう説明するか、どう理解させるか</li> <li>・「語学力」プラスαの条件×3、「異文化力」、「折衝力」、「ネットワーク力」</li> <li>・「同時通訳」の難しさ≠「逐次通訳」の難しさ、「同時通訳」≦「逐次通訳」の理由</li> </ul>

◆実践講座はそれぞれ独立して実施することが前提です。他の講座との組み合わせも可能です。◆展示会出展企業向けには実習として「商談記録シートの作成」◆通訳を使いこなす講座には実習として「通訳を活用した自己紹介シミュレーション」◆中国語の学び方を学ぶ講座には実習として「中国語で自分の名前を自己紹介」、以上それぞれ実習が含まれています。(実習は時間配分の関係で実施するかどうか選択が可能です)◆現場での経験をどうした実践的なワークショップを中心に進める講座。

